

ESD 地域ミーティング in 四国

ESD の 10 年

ESD は「持続可能な開発のための教育」。

2005～2014 年までの 10 年間 は、国連 ESD のキャンペーン。

それは、日本が提唱して世界中で取り生まれ、四国各地にも広がりました！

ESD は多種多様です。しかし、本当に「わたし」や「あなた」の今の暮らしと未来は、「持続可能な社会」へと向かっているでしょうか？
持続可能ってどういうことでしょうか？

10 年経った今、**しっかりとこれまでの 10 年**を振り返り、

じっくりとこれからの 10 年を見据えていきませんか。

そして、ぜひ、「持続可能な社会づくり」への**参加・参画**を！

一人ひとりが、試行錯誤しながらも

生き活きと生きる「持続可能な社会」をつくっていくために

動き・関わり・つながることを大切にした「**キャリア教育劇**」。そしてその舞台裏。

それらを題材に、**見て・考え・話し合い**、取り組み方を**共有**していきましょう！



2014 年 5 月 31 日 (土) 9:20～12:00

愛媛県総合科学博物館 (定員 50 名まで)

申込み・連絡先：えひめグローバルネットワーク

Tel&Fax (089) 993-6271 E-mail:wakuwaku@egn.or.jp

(定員になり次第、締め切らせて頂きますのでご了承ください。)

- 主催：NPO 法人えひめグローバルネットワーク
- 共催：環境省・四国環境パートナーシップオフィス (四国 EPO)
認定 NPO 法人「持続可能な開発のための教育の 10 年」推進会議(ESD-J)
- 後援 (予定)：新居浜市、新居浜市教育委員会、新居浜ユネスコ協会、
環境省中国四国地方環境事務所高松事務所、四国生物多様性ネットワーク

参加費無料

◆キャリア教育劇あらすじ◆

「誰かが笑顔になったらば」

お店がなかなか繁盛しないことに悩むパティシエの酒井は、新しいケーキを開発するため、品評会で金賞常連のみかん作りの達人、山田清を訪ねる。だがそこで、物作りに大切な本質を見失っていることを指摘されショックを受ける。達人に勧められ、山でみかん作りを手伝うことになった酒井。そこで彼は自分の仕事にとって本当に大切なものは何だったのかに気づいていく。達人の孫、小学生の勇喜もまた、壁にぶち当たりながら真剣に生きていく大人たちの姿を見て成長していく……。

◆ESD 地域ミーティング◆

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 9:00~9:20 | 受付 |
| 9:20~9:30 | 開会あいさつ
竹内 よし子・えひめグローバルネットワーク代表 |
| 9:30~10:00 | リレートーク「ESDの10年」を振り返る
近森 憲助・鳴門教育大学副学長
谷川 徹・四国生物多様性ネットワーク事務局
村上 千里・ESD-J 理事・事務局長 |
| 10:00~10:05 | 休憩 |
| 10:05~10:40 | キャリア教育劇「誰かが笑顔になったらば」 |
| 10:40~11:50 | パネルトーク「これからの10年」を考える
コーディネーター：森 良・CEPA ジャパン理事
関 福生・新居浜市市民部長
戒田 節子・南海放送アナウンサー（ビデオメッセージ）
吉見 香奈子・松山市立雄郡小学校教員
村田 恵・坊ちゃん劇場アウトリーチ事業部
常川 真由美・四国 EPO 所長
参加者全員によるグループディスカッション |
| 11:50~12:00 | 閉会あいさつ
足立 晃一・環境省中国四国地方環境事務所
高松事務所所長 |